

## 編集後記 生徒諸君！



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail [avenir4you@gmail.com](mailto:avenir4you@gmail.com)



表紙はコロナも落ち着いて多くの修学旅行生で賑わう東大寺。  
僕が通っていた宮崎の高校には修学旅行がなかったので、羨ましく  
思います。その代わり、高1の時に熊本の阿蘇に何日か泊りがけでの「研修」がありました。σ(^\_^)

さすがに当時の記憶はあいまいですが、阿蘇の野山を駆けずり回ったオリエンテーリングだけは覚えています。  
なぜかという、川にかかった丸太の一本橋を渡らなければいけないルートがあって、高所恐怖症の僕は丸太橋の途中で足がすくんでしまい動けなくなった、という情けない出来事があったからです。  
その時、体を張って助けてくれたのが、クラスメートのE君でした。  
そのE君は僕と高校3年間同じクラス。学校に着くと、前日出された宿題をE君から写させてもらうのが半ば習慣のような感じで、E君は僕にとって頭が上がない存在でした。m(\_)\_m



表紙の東大寺の大仏様は正式には「盧舎那仏（るしゃなぶつ）」。「毘盧舎那」とは太陽のこと。宇宙の中心から太陽のように照らし続けるという意味があります。その大仏様には「光背（こうはい）」が飾られています。神仏の体の背後から発せられる光明（後光）を表現したものです。  
僕は仏像を見て回るのが好きですが、仏像を一段と尊く見せる光背も当然チェックしています。

光背→



「ハロー効果」という言葉をご存じでしょうか？「ハロー（halo）」とは、仏像の光背やキリスト教の聖人図画の光輪のこと。「ハロー効果」は、**人事評価で考課者が陥りやすいエラー**とされています。評価するとき、後ろから照らされるハローに錯覚されるがごとく、一部の特徴的な印象に引きずられて全体の評価をしてしまうことです。  
見た目や過去の肩書で一つ何か良い特徴を持っていることで、その人全体のよい印象となり、評価に大きな影響を与えてしまいがちです。人事評価の際は大きな戒めとせねばなりません。



誰でもタメヨ

ナッキーは可愛いからOK!

インターネット級の革命とも称される「ChatGPT」に関するニュースを毎日のように耳にします。西村経済産業大臣は4月11日の閣議のあとの会見で、機密情報の取り扱いなどの懸念が解消されれば、国会答弁の対応などに、この「ChatGPT」の活用を検討していく考えを示しました。  
誰でも使えるAIとされる「ChatGPT」は、国会答弁でも使用を検討するくらいなので、とても優れたものであるのは間違いありません。僕もとっても興味があります。  
ただ一方で、このままAIに頼っていくような時代の流れを、少し怖く感じています。

全部、AIにお任せ



コンピュータが制御不能になることをシステムに「バグ」（虫）があるなんていいです。前職で25年、システム開発の仕事に携わってきた僕自身も「バグ」という言葉をよく使っていました。でも、当然ながらコンピュータには虫なんていません。  
そこにあるのは設計のミスやプログラムのミス、検収のミス、運用のミスなど、つまりはヒューマンエラーです。AIといえども、設計やプログラミングや元々のデータの入出力をするのは人。AIはあくまで道具です。だからこそ、**人の教育や育成が大切**なのです。人の育成とAI導入は表裏一体。  
「AIが言うのだから・・・」なんていうのは、ハロー効果に近いものがあるような気がします。

宿題は時分てせよ



いつもヘタレな僕でこめんさい。

思えば、僕にはE君のような、困った時に助けてくれる存在がいつの時代にもあったように思います。AIより頼りになる(?)、そんなありがたい仲間がいてくれたおかげで、今の自分があります。修学旅行の生徒諸君も、楽しい思い出を作るとともによい人間関係を築いてほしいものです。^\_^☆



アヴェニール労務事務所  
avenir